

平成 29 年 3 月 30 日
九州地方整備局

老朽化対策における地方公共団体への支援状況

九州地方整備局では、インフラ長寿命化基本計画をふまえ、地方公共団体の課題（人不足、技術力不足、予算不足等）に対応するため様々な取り組みを進めています。

平成 28 年度に行った 老朽化対策における地方公共団体への支援 について、別紙のとおりとりまとめました。

※平成 28 年度のポイント

- 地方公共団体向けの研修を 38 回 開催し、約 540 名 参加。
- 九州全 7 県及び下関市で、国が地方公共団体と連携して取り組む連絡会議（メンテナンス会議等）を 24 回 開催。
- 佐賀県唐津市管理の呼子大橋では、国が地方公共団体に代わり、九州で初めて、橋の診断・修繕を推進。

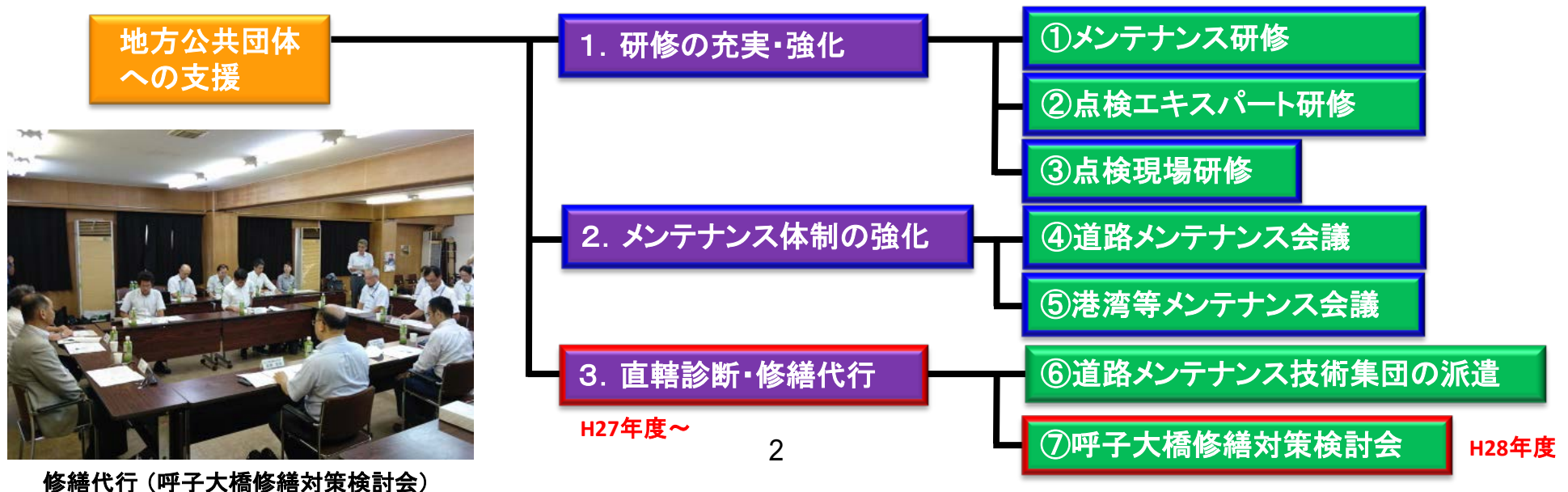
問い合わせ先

九州地方整備局 TEL 092-471-6331
企画部 事業調整官 古木（内線 3116）
企画部 企画課 課長補佐 中村（内線 3155）

- 国の「インフラ長寿命化基本計画」(平成25年11月策定)に基づき、地方公共団体も、インフラの維持管理・更新等の取組の方向性を示す「インフラ長寿命化計画」を平成28年度までに策定することとなっています。
- さらに今後は、「インフラ長寿命化計画」に基づき、適切な点検・診断、修繕・更新等を行っていく必要があります。
- 九州地方整備局では、技術者不足が指摘されている地方公共団体への支援として、昨年度に引き続き、「**研修の充実・強化**」「**メンテナンス体制の強化**」を行っています。
- 佐賀県唐津市管理の呼子大橋では、平成27年度に九州で初めて「**直轄診断※1**」を実施し、**平成28年度から「修繕代行※2」**を実施しています。

※1 直轄診断・・・地方公共団体からの要請に基づき、国土交通省職員等(地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員)で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、地方公共団体へ技術的な助言を行うもの。

※2 修繕代行・・・高度な技術力を要する修繕工事等を地方公共団体に代わって実施する制度。



1. 研修の充実・強化

- 九州地方整備局では、確実な維持管理が行えるよう、従来の取組みに加え、実務的な点検の適切な実施・評価に資する研修体制を充実・強化。
- 技術者不足が指摘されている地方公共団体等への技術的支援の一環として、**九州地方整備局職員等が講師となり、地方公共団体からの要請に応じた各種研修を実施。**

①メンテナンス研修

《目的》

橋梁、河川管理施設、ダム、官庁施設、港灣施設について、老朽化対策のための**基本的な点検・診断技術の習得**を図るもの。

- 今年度九州全7県3政令市で19回実施。
- 地方公共団体担当者367名が参加。



メンテナンス研修(河川保全技術) 大分県

②点検エキスパート研修

《目的》

橋梁、トンネル、河川管理施設について、**自ら点検・診断できるより専門的な技術の習得**を図るもの。

- 九州地方整備局の研修所(九州技術事務所)において、今年度6回実施。
- 地方公共団体担当者67名が参加。



道路構造物管理実務者研修[トンネル初級]

③点検現場研修

《目的》

国が管理する橋梁、ダムの現場を活用し、点検・診断方法等の技術力向上を図るもの。

- 今年度九州5県(佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)で13回実施。
- 地方公共団体担当者103名が参加。



巖木ダム総合点検現地検討会の現場研修

2. メンテナンス体制の強化

○九州地方整備局では、**地方公共団体の課題(人不足、技術力不足、予算不足等)**に対応するため、**地方公共団体との連携**により課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、九州地方整備局が主体となって**連絡会議を実施**。

④道路メンテナンス会議

《実施事項》

- ①点検業務の発注支援
- ②点検・措置状況の集約・公表
- ③技術的な相談対応
- ④研修・基準類の説明会等

開催県	H28年度		参加団体数 (団体)
	第1回	第2回	
福岡県	H28.7.27	H29.3.3	61
佐賀県	H28.7.15	H29.2.14	21
長崎県	H28.7.14	H29.2.14	22
熊本県	H28.11.7	H29.2.23	46
大分県	H28.7.6	H29.3.7	19
宮崎県	H28.7.6	H29.2.8	27
鹿児島県	H28.7.15	H29.2.22	44
合計			240

- 平成26年6月30日をもって九州全7県に設置済み。
- 九州内全地方公共団体が参加。
- 今年度九州各県毎に2回実施。



大分県での開催状況

⑤港湾等メンテナンス会議

《実施事項》

- ①維持管理状況の把握
- ②維持管理体制の確保に向けた検討
- ③港湾施設等の維持管理に関する情報共有等

- 平成27年3月27日に管内の全44の港湾管理者が参加のもと設置済み。
- 平成28年度は、平成28年10月28日に開催。

＜ワーキンググループ＞

- 平成28年3月11日をもって九州全7県及び下関市に設置。
- 平成28年度は、九州全7県及び下関市で開催。

※宮崎県は2回、その他の6県及び下関市は1回開催。



港湾等メンテナンス会議開催状況

- 地方公共団体に対して、財政面、技術面等で支援が求められるなか、支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術を要する佐賀県唐津市管理の呼子大橋において、平成27年度に九州初となる直轄診断を実施し、**平成28年度から修繕代行を実施**。
- 効率的かつ効果的な修繕計画を策定するため、有識者及び専門技術者をメンバーとした「**呼子大橋修繕対策検討会**」を3回開催。

⑥道路メンテナンス技術集団の派遣

⑦修繕代行

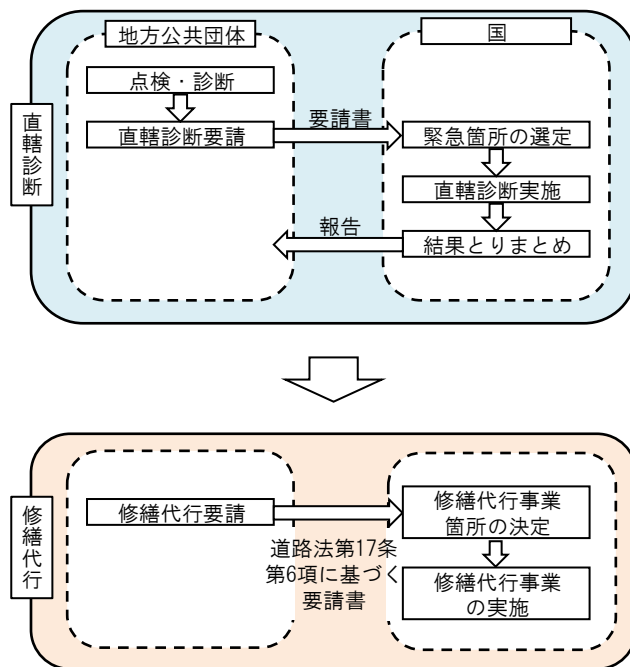
■修繕代行実施橋梁

呼子大橋

所在地：佐賀県唐津市呼子町殿之浦
 路線：市道 呼子大橋線
 橋種：5径間箱桁橋・3径間斜張橋
 橋長：728m
 建設年：平成元年



■全体の流れ

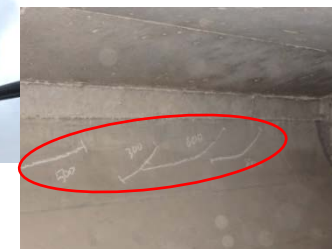


■呼子大橋修繕対策検討会

- 第1回 (H28.9.14)
対策にあたっての、必要な現地調査等について議論
- 第2回 (H28.12.19)
ケーブル振動抑制の対策等について議論
- 第3回 (H29.3.7)
修繕対策の基本方針のとりまとめ



制振ワイヤの破断



箱桁内面側のひび割れ

(参考資料) 平成28年度 各研修・会議の概要

①メンテナンス研修

- ・目的：老朽化対策のための基本的な点検・診断技術の習得を図るもの。
- ・分野：橋梁、河川管理施設、ダム、官庁施設、港湾施設
- ・地方公共団体担当者参加人数：計367名
- ・講師：九州地方整備局職員
- ・開催箇所：九州全7県3政令市
- ・開催回数：計19回（橋梁3回、河川管理施設12回、ダム1回、官庁施設1回、港湾施設2回）

②点検エキスパート研修

- ・目的：自ら点検・診断できるより専門的な点検・診断技術の習得を図るもの。
- ・分野：橋梁、トンネル、河川管理施設
- ・地方公共団体担当者参加人数：計67名
- ・講師：九州地方整備局職員
- ・開催箇所：九州技術事務所（九州地方整備局の研修所）
- ・開催回数：計6回（橋梁3回、トンネル1回、河川管理施設2回）

③点検現場研修

- ・目的：国が管理する現場・構造物を活用し、点検・診断方法等の技術力向上を図るもの。
- ・分野：橋梁、ダム
- ・地方公共団体担当者参加人数：計103名
- ・講師：九州地方整備局職員
- ・開催箇所：九州5県（佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）
- ・開催回数：計13回（橋梁12回、ダム1回）

④道路メンテナンス会議

- ・ 目的：地方公共団体の三つの課題（人不足・技術力不足・予算不足）に対して、国が各都道府県と連携して、支援方策を検討するとともに、それらを活用・調整するため、『道路メンテナンス会議』を設置。
- ・ 参加団体：九州内の全地方公共団体（240団体）、九州地方整備局
- ・ 開催箇所：九州全7県
- ・ 開催回数：各県2回
- ・ 実施事項：(1)点検業務の発注支援、(2)点検・措置状況の集約・公表、(3)技術的な相談対応、(4)研修・基準類の説明会 等

⑤港湾等メンテナンス会議

- ・ 目的：港湾施設及び海岸保全施設の維持管理に関し、国及び港湾管理者等の連携・支援による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図るもの。
- ・ 参加団体：港湾管理者（管内全44団体）、九州地方整備局
- ・ 開催箇所：九州地方整備局
- ・ 開催回数：1回（平成28年度は、H28.10.28に開催）
- ・ 実施事項：(1)維持管理状況の把握、(2)維持管理体制の確保に向けた検討、(3)港湾施設等の維持管理に関する情報共有 等
- ・ その他：ワーキンググループを九州全7県及び下関市に設置し、平成28年度は宮崎県にて2回、その他の6県及び下関市は1回開催。